

職場における熱中症防止のためのガイドライン(農業者向け)

厚生労働省では、事業者向けに熱中症対策をまとめた「職場における熱中症防止のためのガイドライン」を策定しました。この資料では、本ガイドラインについて、農業者向けに概要を取りまとめています。



厚労省ガイドライン

1. 熱中症リスク評価

01 熱中症リスクが高い作業を特定しましょう

自らや従業員が行う農作業の中で、熱中症を気を付けるべき作業を特定しましょう。高温多湿な環境下での作業や連続作業は熱中症のリスクが高くなります。



例)ビニールハウス内作業
炎天下での収穫 など

詳しくはガイドライン p2

02 WBGT値※を把握しましょう

地域ごとのWBGT値も公表されていますが、実際の作業環境で計測し、計測値によって、その日の作業の強度を検討しましょう。



※WBGT値とは...熱中症リスクを判断するため、気温・湿度・輻射熱(日差し・照り返し)の3要素を組み合わせる計算された指標です。

詳しくはガイドライン p2

03 熱中症リスクを評価しましょう

作業服により熱中症リスクは異なります。着衣補正值をWBGT値に加算し、リスクを評価しましょう。



例)フード付きのカップを着用した場合は、WBGT値に+11加算

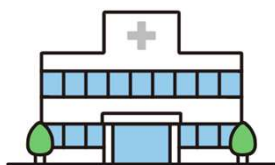
詳しくはガイドライン p3、20

2. 熱中症リスクに応じた措置

01 作業計画や報告体制を整備しましょう

気温やWBGT値を踏まえ、休憩・給水のタイミングを事前に計画しましょう。

いざという時に備え、病院などの連絡先を確認しておきましょう。従業員がいる場合は、以下のQRコードの熱中症対応フローを作成してください。



フロー図

詳しくはガイドライン p4~6

02 作業環境を整備しましょう

日陰・送風・換気・ミストなどで作業環境のWBGT値を下げ、作業場所近くに涼しい休憩所や飲料を備えましょう。



詳しくはガイドライン p6~7

03 作業中の熱中症対策を行いましょう

やむを得ず、高いWBGT値の時に作業をする場合は、作業を短時間に区切り、休憩を増やし、身体負担を抑えましょう

また、通気性の良い服装やファン付き作業服も活用しましょう。



詳しくはガイドライン p7~11

2. 熱中症リスクに応じた措置

04 作業前後にも健康管理に努めましょう

睡眠不足や下痢、発熱などの体調不良は熱中症の発症リスクを高めるため、作業前後には自身と従業員の体調を確認しましょう。



仕事前日の飲酒は控えめに

特に高齢者や持病のある方は、熱中症を発症しやすいため、配慮が必要です。

詳しくはガイドライン p11~13

05 熱中症に関する知識を学びましょう

農林水産省では令和8年4月~6月を「熱中症等研修強化期間」に設定しています。地域で開催される研修に、参加しましょう。



研修に参加できない場合は、農水省や厚労省が作成しているチラシやパンフレット等で学んでください。

詳しくはガイドライン p13~15

06 熱中症発症時には応急処置を行いましょう

異常を感じたらすぐ作業を中断し、涼しい場所で衣服を緩めて身体を冷やします。

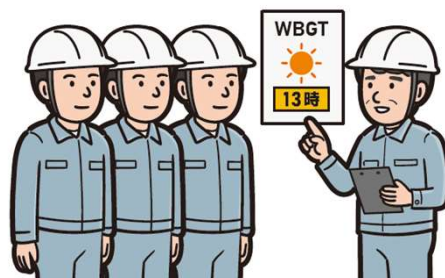


意識がもうろうとしている・返答がおかしい場合は 直ちに119（または#7119）に連絡してください。

詳しくはガイドライン p15

07 その他

暑くなってからと思わずに、4月から休憩場所や飲料の準備等、熱中症対策を進めましょう。



作業中にも緊急連絡先を記載したカードを携行しておくことで万一の場合に迅速に対応できます。

詳しくはガイドライン p15~17

農林水産省では、農作業中の熱中症対策に関する啓発資料を作成しています。熱中症の事故事例やWBGT値に基づいた作業の目安なども掲載しておりますので、ご確認ください。



農水省HP



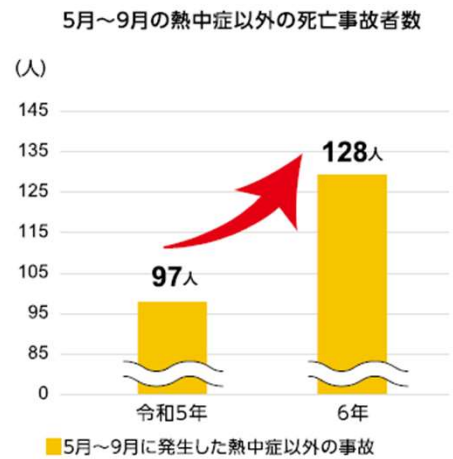
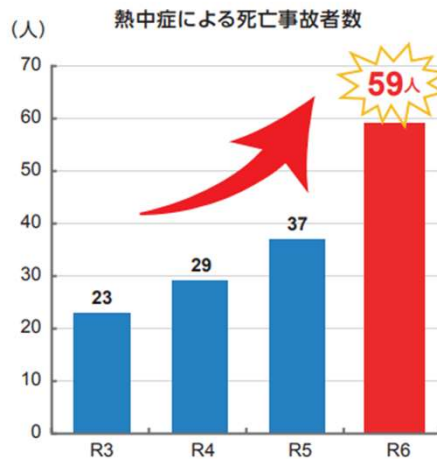
農作業における

簡易版

熱中症等対策研修資料

夏季の農作業中の死亡事故が急増しています！
4月1日～6月30日は熱中症等対策研修強化期間です。
正しい安全知識を学び、暑さから命を守りましょう。

- 近年、農作業中の**熱中症等**による死亡者が増加しています。
- また、令和6年の5月～9月は、熱中症以外にも高所からの転落や草刈り作業中等の事故が増加しています。**夏場の高温**による疲れなどが、**事故の発生に影響**しています



熱中症対策① 休憩、水分・塩分補給と対策アイテム

休憩時には、

水分・塩分補給をしましょう

- こまめに休憩、水分・塩分補給しましょう。
- 水分補給には、カフェインが含まれていない水や麦茶が適当です。大量に汗をかいた後は、**塩分・糖分を含むスポーツドリンクが最適**です。
- 経口補水液は、熱中症の初期症状が出た際には、経口補水液が効果は高いですが、乗用することはやめましょう。



体温上昇を防ぐ



ファン付きウェア

身体に風を吹き込み、気化熱で涼しい



冷却ベスト

保冷剤などで身体を直接冷やす。ファン付きウェアの組合せも◎

自身の体調を知る



ウェアラブル端末

深部体温や体温の水分バランスを計測し、休憩や水分補給のタイミングをお知らせ

休憩方法を改善する



シェード付きチェア

日陰での休憩で、熱中症リスクを低減



冷却ベスト

保冷剤などで身体を直接冷やす。ファン付きウェアの組合せも◎

何かあったときに備える



救急セット

経口補水液や冷却ぐっじ、きれいななど一式を準備

位置情報共有アプリ

意識が朦朧としたときの詮索に有効

熱中症対策② 農作業の省力化・軽労化

熱中症等の夏の農作業事故リスクを低減するためには農作業を省力化・軽労化することが有効です。スマート農業技術や農業サービス事業者の活用等を検討しましょう。

ドローンサービスによる
農薬散布・追肥



高軒高ハウス



遠隔操作による
かん水ポンプの
起動

収穫機



自動草刈機



省力樹形への転換

このような取組を進めるために、以下の事業も活用可能ですのでご検討ください。

スマート農業・農業支援サービス事業
加速化総合対策事業

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/service.html>



スマート農業・農業支援サービス事業
導入総合サポート事業

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/sumaten.html>



グリーンな生産体系加速化事業

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/green/index.html>



熱中症対策かなと思ったときの応急処置

少しでもおかしいと思ったら、無理せず休むことが重要です。

軽症のとき

めまい
立ちくらみ
手足がつる
こむら返り

- 涼しい環境へ避難しましょう。
- 服をゆるめて風通しをよくしましょう。
- 水をかけたり、扇いだりして体を冷やしましょう。
- 水分・塩分を補給しましょう。



中等症以上のとき

頭痛
嘔吐
倦怠感
虚脱感
集中力や判断力の低下

躊躇しないで、救急車を呼ぶ

救急車が到着するまでの間、作業着を脱がせ全身を急速冷却しましょう



熱中症は救急車到着までの応急手当が運命を左右します
対応を誤ると取り返しがつかないことになります

研修お疲れ様でした！このほか、農作業安全対策に関する資料をまとめている農林水産省のHPを是非ご確認ください。

また、研修資料の感想について、アンケートの御協力をお願いします



農林水産省HP



アンケート

7月1日～9月30日 熱中症等対策声かけ期間

—キャッチフレーズ—

“いのちをうばう、夏のひとり作業”

農作業中の熱中症事故の多くは1人作業で発生しています。

大切な人の命を守るため、家族や地域で声を掛け合いましょう！